

特集2

令和2年

常陸太田市 成人式

紡ぐ

～過去と未来を結ぶ糸～

めでたすぎ～!



1月12日、令和を迎えて初となる常陸太田市成人式をパルティホールで開催。今年度の新成人428人(男性214人、女性214人)が出席し、会場は華やかなお祝いの雰囲気になりました。

今回、実行委員会が掲げた成人式のテーマは「紡ぐ過去と未来を結ぶ糸」。テーマを考えるにあたって、どのような想いがあったのでしょうか。

式典後のアトラクションでは、常陸太田大使のマシコタツロウさんによるミニライブが行われ、市の歌「空があるまち」などを歌って

新成人へエールを送りました。また、その後の抽選会では恩師の先生方が舞台上上がり、新成人へメッセージを送りながら抽選するなど盛り上がりました。皆さんには、明るく温かな未来が待っていることでしょう。新成人の皆さん、おめでとございます!



実行委員会 委員長
久保木香帆さん あいさつ



私たちは職業に従事している者、学業に励んでいる者など立場はさまざまですが、社会の一員として今日を迎えられます。大人になることの意味をそれぞれが考え、今日この成人式を門出とし、社会に貢献できるよう、精進していく覚悟であります。

私たち成人式実行委員18名は、今回の成人式のテーマを「紡ぐ、過去と未来を結ぶ糸」としました。テーマを考えるにあたり、私たちが今まで生きてきた中で、人との関わりがどんな時もあり、その人とのつながりを、自分たちなりに紡いでここまで来たことに気づきました。

今、私たちが一人の大人として進めるのは常に家族がそばで支えてくれたからだと思います。そう考えるとやはり、人間は一人では生きられません。常に自分が存在

していることを意識するとそこには誰かがいます。

私たちは過去と未来を結び、道を示してくださった方々と、これから出会う新しい方々との絆を紡いでいけるような存在になりたい、また、そんな存在になれるようにという意味を込め成人式のテーマを決めました。

新成人一同、この自然豊かなふるさと「常陸太田」から学んだ心の豊かさを忘れず、困難にぶつかったとしても、それぞれのおかれた場所で精一杯頑張りたい。私たちが離れていても、一緒に頑張っていることを忘れないでください。

どんな状況でも、支えてくださっている方々に感謝の気持ちを忘れることなく、成人としての自覚を新たに努力していきます。
(実行委員長あいさつより抜粋)



Congratulations!



新成人 バンジージャンプ

未来へジャンプ! 勇気ある姿を魅せる!



毎年恒例となった、新成人によるバンジージャンプ! 今年も、10人の勇気ある新成人がそれぞれの志を胸に挑戦しました。バンジージャンプの起源は、バヌアツ共和国を構成する83の島のひとつ、ペントコスト島という場所で古くから行われている儀式「ナゴール」と言われています。高くそびえるやぐらの上から足首にくくり付けた植物のつる一本だけを命綱に飛び降り、成功させた男だけが大人として認められるのだとか。約6500キロも離れた南国に伝わる成人の儀に思いを馳せ、高さ100メートルから湖面へ向かって勢いよく飛び込んでいく姿はまさに勇士! テレビ局や新聞社など多くのメディアも取材に訪れ、常陸太田の新成人の勇姿が全国に紹介されました。

レッツバンジー!



新成人バンジージャンプ挑戦者



村上 達也さん 太田中出身



川崎 勇真さん 峰山中出身



栗原 和さん 南中出身



有賀 雅哉さん 太田中出身



矢野 樹人さん 瑞竜中出身



富岡 明恵さん 世矢中出身



猪野 あすみさん 北中出身



富田 尚生さん 水府中出身



鈴木 莉歩さん 水府中出身



井坂 翼さん 里美中出身